

## 【 第4回中標津町自治推進会議報告 】

日時：平成27年3月16日（月）19：00～20：30

場所：中標津町役場 3階 301会議室

出席者：15名（自治推進会議委員10名、アドバイザー1名、ファシリテータ1名、事務局4名）

### <会議次第>

- 1 開会
- 2 会長挨拶
- 3 議題
  - （1）町民の自治活動と自治基本条例の関わりについて
  - （2）来年度の自治推進会議
  - （3）その他
- 4 副会長挨拶
- 5 閉会

---

### <会議結果報告>

[会長挨拶]

- 1 開会
- 2 会長挨拶：西根会長
- 3 議題
  - （1）町民の自治活動と自治基本条例の関わりについて  
⇒ 東田ファシリテーター



前回まで委員から町民参加について、それぞれどんな活動をされているか、その中で「協働」や「町民参加」について話し合ってきておりますが、今日は「町民参加」による住民自治の取組みが自治基本条例にどう関わっているか、また、そこから見えてくる視点みたいなものを話し合い条例の中の「町民参加」「町民活動」のところのどの条文にかかわっているかを認識されているか検証したい。

⇒ 委員より意見

- ・所属している団体内において、自治基本条例に自分達の活動が位置づけられていることを意識してほしい。
- ・家族にこの会議、取り組みのことを理解してもらえるように上手く説明が出来ない。  
また、この自治基本条例によって生活がどう変わるか聞かれても答えられない。
- ・条例は町民には認識されていないのではないかな。
- ・条例をつくる段階から関わっているがメリットを受けたことは無い。
- ・物事を考えるよりどころであるので、恩恵を受けるものではないと思う。
- ・この会議に参加して初めて自治基本条例のことを知った。

⇒ 平岡先生より

- ・自治体職員は条例を作った時点で目的を達成したこととなるが、現在自治基本条例の策定作業をしている自治体に、中標津町自治推進会議では住民が参加して条例を守り育て推進に取り組んでいる話をすると驚かれるとともに感心される。

[会議風景]



## (2) 来年度の自治推進会議

⇒委員より自治推進会議で行うことや個人としての行動について意見。

- ・町民に認識してもらうために外に出て働きかけていく出前講座を行ってはどうかな。
- ・条例というと難しく考えられるので、団体では活動している中で条例との結びつきを説明したい。
- ・条例はコミュニケーション手段と思うが、現在は一方通行であり浸透しない。双方向が不可欠と思う。
- ・色々な活動団体があるが、それらのデータベースが必要と思う。加入したいと考えていても情報が無い。
- ・家族をはじめ他人に対しこの自治推進会議や条例のことを説明できることを目標としたい。
- ・条例制定時にイベントを大々的に実施したが、一過性ではなく毎年何かを実施してはどうかな。また条例の解説書の捉え方について委員は、統一した見解をもつ必要がある。

※来年度に向けて（まとめ）

自治推進会議には条例の目指す姿や方向性を指し示す役割があると思うところであるので、来年度は住民に対し働きかけ、条例の目指している住民の自治について身近な話題から取り組むことといたしました。

（３）その他

⇒ 平岡先生より講評

今日は「地方自治」・「協働」というテーマの中で議論され非常に良かったと思います。

条例というのは、行政のものであり、住民の方が意識することは無いのですが、この自治推進会議は存在自体が貴重であり、議論していることは他の自治体にはない取り組みであると言えます。来年度は苦しんででも次のステップに進んで欲しいと思います。

また取り組みについては、例えば活動団体の方や若手の町職員と意見交換をしてみることも良いのではないのでしょうか。



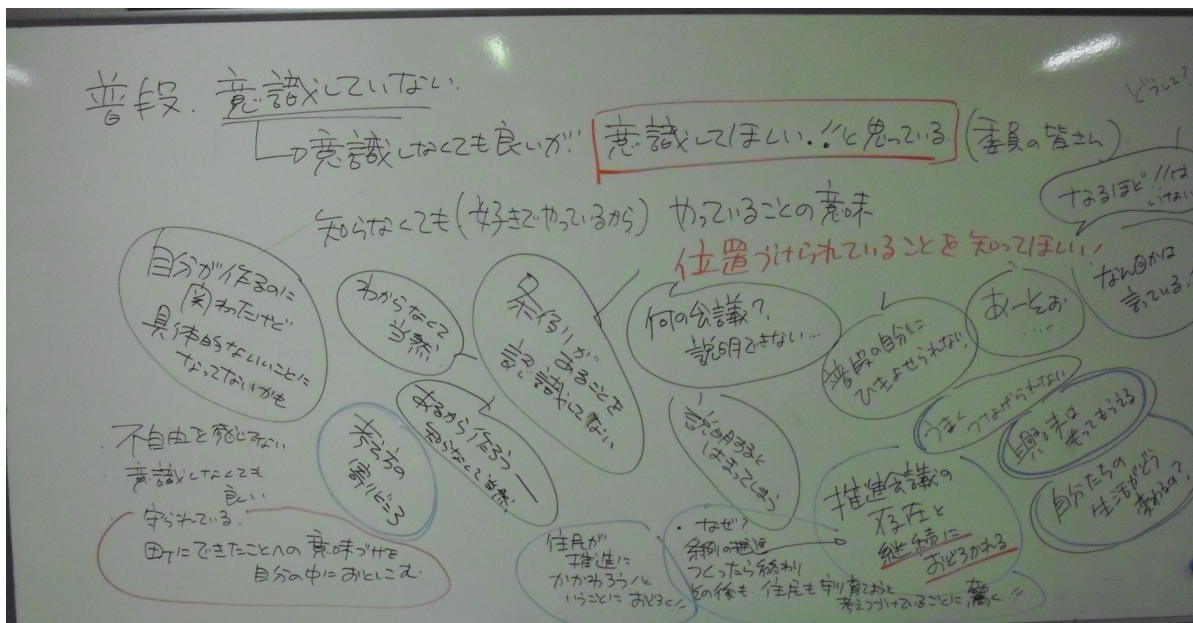
4 副会長挨拶：小野副会長

[副会長挨拶]

5 閉会



### 板書①



板書②

